

室戸ジオパークの世界ジオパークネットワーク加盟審査の経過

日本ジオパーク委員会事務局

1. 書類審査

2010年11月30日：申請書一式をUNESCO本部のGGN事務局へ提出。

これまでの4地域の例では、申請書提出後一部書き直しや追加情報の提出を求められることがあったが、今回はそのようなことはなかった。

2. 現地審査

2011年7月12-15日

現地審査委員

Dr. Patrick McKeever：GGN bureau, EGN Vice Co-ordinator, 北アイルランド地質調査所

Dr. Wesley Hil：米国地質学会国際連携担当

評価された点

- ・付加体という理解が難しい地質や、地震による隆起の証拠を、わかりやすい言葉で説明している
- ・野外の説明板やパンフレットはわかりやすい
- ・子供たちへの教育活動が活発に行われている
- ・地震など地球活動と人の暮らしとのつながりがとても深い場所である
- ・ジオマスター講座などを通じて、多くの人がジオパークに積極的に関わっている
- ・様々な特徴的な個性を持った人がたくさんいてジオパークを盛り上げている
- ・最先端の研究機関（高知コアセンター）との連携がある

指摘された改善点：

- ・ジオパーク拠点での貝殻の販売は良くない
- ・ドルフィンセンターのイルカの問題
- ・ガイドの料金システム（ガイド組織が自立できるような価格に）

3. 結果発表

9月18日、ノルウェーで開催される第10回ヨーロッパジオパークネットワーク会議の閉幕式で今年の申請地域の審査結果が発表される。

以上

